

北星信用金庫 景況レポート

地域企業景気動向調査／令和8年10月

第63回



INDEX

地域企業景気動向調査概要

地域企業景気動向調査

総合 製造業 卸売業 小売業

サービス業 建設業 不動産業 運輸業

主要経済指標

特別調査「中小企業における
生成 AI の利活用について」

お問い合わせ先

まごころ、きらり
 北星しんきん

〒096-0012
名寄市西2条南5丁目5番地
北星信用金庫 地域支援部
Tel 01654-2-1111

第 63 回 地域企業景気動向調査概要

1. 調査地域

2 市 5 町 1 村

(名寄市・士別市・美深町・下川町・中川町・剣淵町・和寒町・音威子府村)

2. 調査時点

令和 8 年 9 月

3. 調査内容

令和 8 年 7 月 ～ 9 月の実績

令和 8 年 10 月 ～ 12 月の見通し

4. 調査方法

面談聞き取りによる調査

5. 調査対象企業数

1 0 0 社

区 分	調査先数	回答数 (件)	回答率 (%)
製 造 業	17	17	100.0
卸 売 業	9	9	100.0
小 売 業	22	22	100.0
サ ー ビ ス 業	18	18	100.0
建 設 業	24	24	100.0
不 動 産 業	5	5	100.0
運 輸 業	5	5	100.0
合 計	100	100	100.0

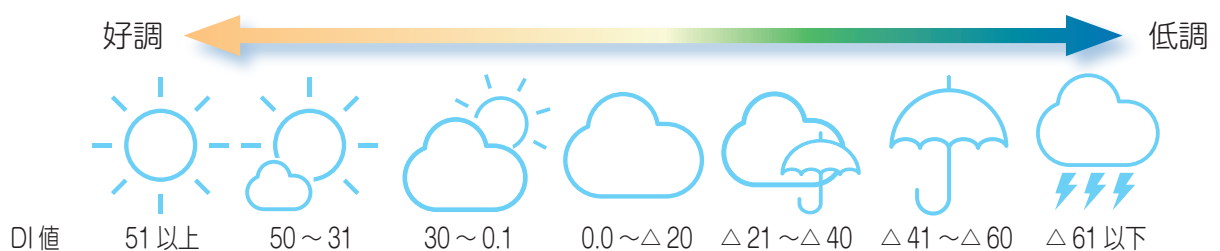
6. 業況判断指数

DI 値 (Diffusion Index) による判断

DI とは、「好転 (上昇)」とした企業割合から「悪化 (下降)」とした企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかを比べて、景気がどの方向に向かいつつあるかを時系列的にみる方法です。DI が高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

7. 天気図の見方

景気指標を総合的に判断して作成

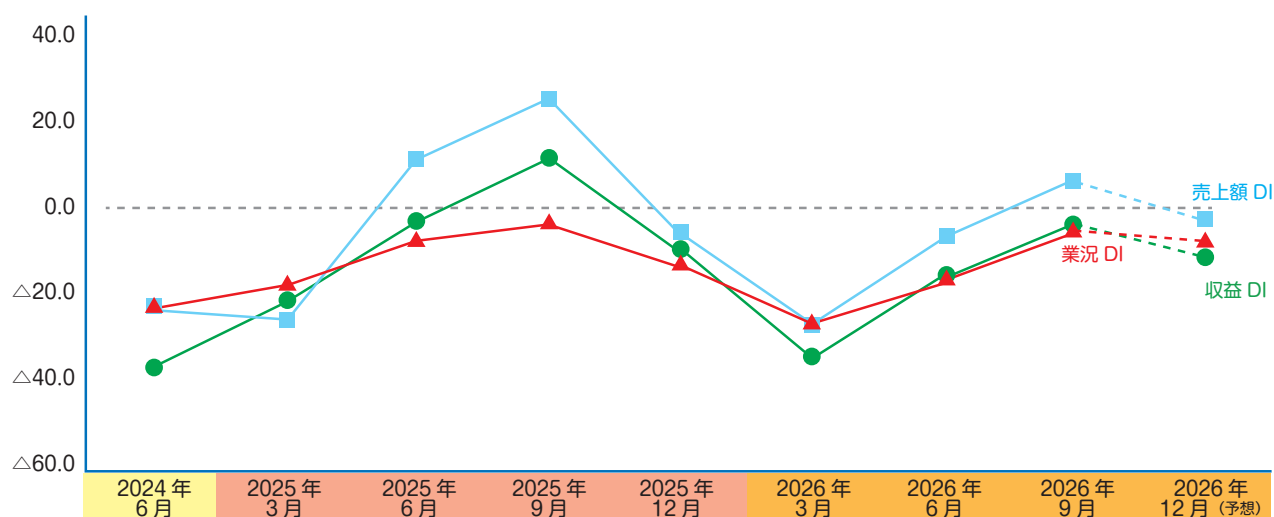


総合



1. 主要指標の推移

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
業 況 DI	△ 28.3	△ 18.0	△ 5.0	△ 8.0
売 上 額 DI	△ 28.3	△ 7.0	8.0	△ 3.0
収 益 DI	△ 35.4	△ 17.0	△ 4.0	△ 10.0



2. DI の推移

○販売価格 DI

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
製 造	23.5	35.3	52.9	29.4
卸 売	55.6	77.8	66.7	33.3
小 売	42.9	63.6	63.6	59.1
サービス	33.3	33.3	44.4	16.7
建 設	4.2	29.2	4.2	8.3
不 動 産	△ 20.0	0.0	0.0	0.0
運 輸	0.0	60.0	0.0	0.0

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金価格。

○仕入価格 DI

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
製 造	64.7	64.7	52.9	47.1
卸 売	66.7	77.8	77.8	55.6
小 売	52.4	77.3	72.7	59.1
サービス	66.7	77.8	55.6	33.3
建 設	50.0	95.8	75.0	83.3
不 動 産	20.0	20.0	20.0	20.0
運 輸	△ 40.0	100.0	40.0	20.0

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格。

○人手過不足 DI

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
製 造	△ 23.5	△ 41.2	△ 35.3	△ 23.5
卸 売	△ 22.2	△ 44.4	△ 44.4	△ 55.6
小 売	△ 38.1	△ 36.4	△ 40.9	△ 31.8
サービス	△ 44.4	△ 61.1	△ 50.0	△ 38.9
建 設	△ 45.8	△ 62.5	△ 70.8	△ 58.3
不 動 産	0.0	0.0	0.0	0.0
運 輸	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0

○残業時間 DI

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
製 造	△ 23.5	△ 23.5	△ 5.9	△ 5.9
卸 売	△ 11.1	△ 22.2	22.2	22.2
小 売	△ 9.5	0.0	△ 4.5	13.6
サービス	△ 5.6	△ 11.1	5.6	△ 16.7
建 設	△ 12.5	△ 25.0	△ 16.7	△ 12.5
不 動 産	0.0	0.0	0.0	0.0
運 輸	△ 20.0	60.0	△ 20.0	△ 20.0

○設備投資の動き

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
製 造	△ 29.4	△ 29.4	△ 23.5	△ 17.6
卸 売	△ 11.1	△ 22.2	△ 11.1	△ 11.1
小 売	△ 4.8	△ 22.7	△ 18.2	△ 13.6
サービス	△ 11.1	△ 22.2	△ 22.2	△ 11.1
建 設	0.0	0.0	△ 4.2	△ 4.2
不 動 産	—	—	—	—
運 輸	0.0	20.0	20.0	0.0

※不動産業は設問にない為、データがありません。

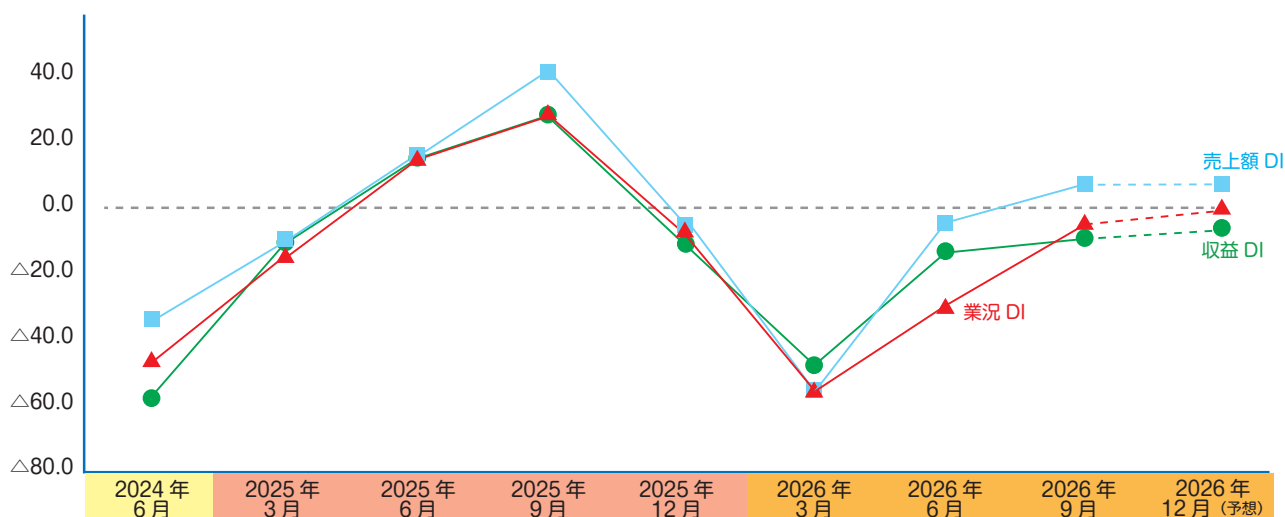


製造業



1. 主要指標の推移

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
業 況 DI	△ 58.8	△ 35.3	△ 5.9	0.0
売 上 額 DI	△ 58.8	△ 5.9	5.9	5.9
収 益 DI	△ 52.9	△ 17.6	△ 11.8	△ 5.9



2. 経営上の問題点

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	原材料高 64.7%	原材料高 70.6%
第 2 位	売上の停滞・減少 35.3%	売上の停滞・減少 35.3%
第 3 位	人手不足 29.4%	工場・機械の狭小・老朽化 29.4%

(複数回答)

3. 当面の重点経営施策

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	経費を節減する 58.8%	経費を節減する 58.8%
第 2 位	人材を確保する 35.3%	人材を確保する 35.3%
第 3 位	販路を広げる 情報力を強化する 23.5%	販路を広げる 29.4%

(複数回答)

調査員の コメント

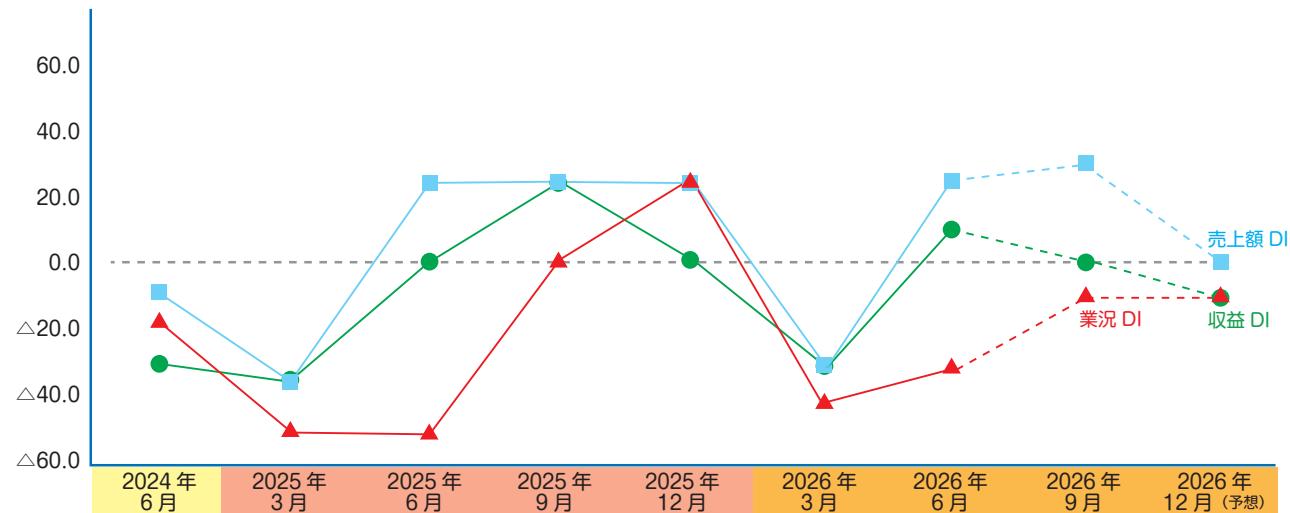
- ・工場原料は輸入に頼っており、円安で材料が高止まりしている。
- ・加工に必要な材料も値上げになり利益を圧迫している。今後もしばらくはこの状況が続くと思われ、値上げ交渉と経費削減に努めながら様子を見ている。
- ・価格転嫁の為、取引先に通知し値上げしているが追い付いていないと感じている。

卸売業

1. 主要指標の推移

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
業 況 DI	△ 44.4	△ 33.3	△ 11.1	△ 11.1
売 上 額 DI	△ 33.3	22.2	33.3	0.0
収 益 DI	△ 33.3	11.1	0.0	△ 11.1

※ 2024 年 6 月分は「卸・小売業」としてデータ集計した数値を掲載しています。



2. 経営上の問題点

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	人手不足 55.6%	売上の停滞・減少 66.7%
第 2 位	売上の停滞・減少 取引先の減少	人件費の増加 取引先の減少
第 3 位	33.3%	33.3%

(複数回答)

3. 当面の重点経営施策

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	情報力を強化する 77.8%	情報力を強化する 66.7%
第 2 位	経費を節減する 44.4%	経費を節減する 55.6%
第 3 位	販路を広げる 人材を確保する 流通経路の見直しをする 33.3%	販路を広げる 44.4%

(複数回答)

調査員の コメント

- ・ 中東情勢の影響から仕入制限が続いており見通しは良くない。
- ・ 売上は特に変化なく現況横ばい推移。今後に関しては、人口減少も著しい為、規模縮小せざるを得ない状況。



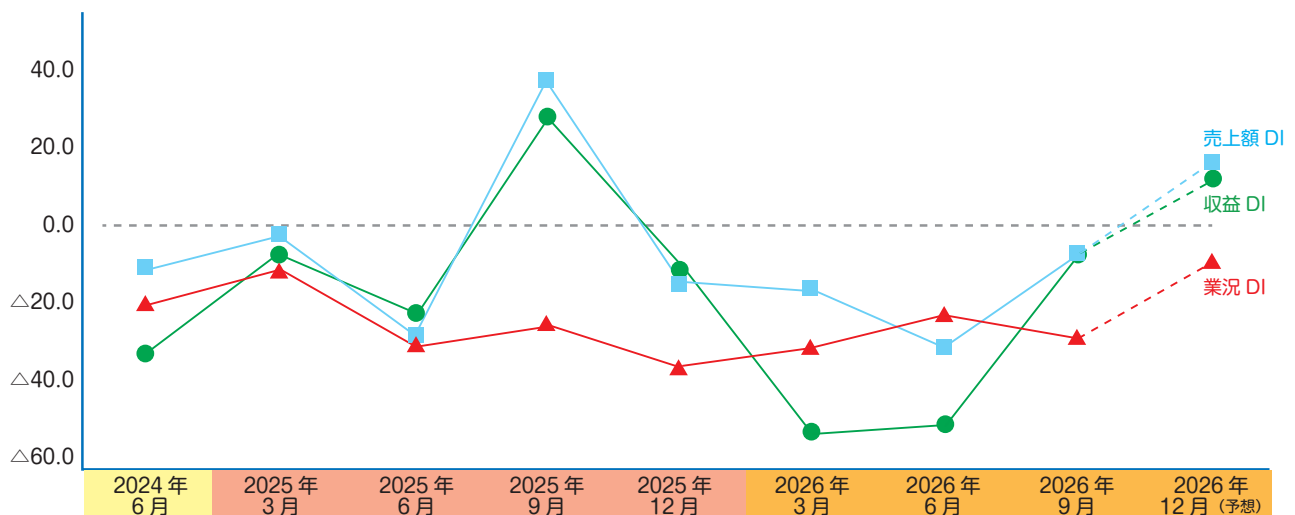
小売業



1. 主要指標の推移

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
業 況 DI	△ 33.3	△ 22.7	△ 31.8	△ 13.6
売 上 額 DI	△ 19.0	△ 31.8	△ 9.1	18.2
収 益 DI	△ 52.4	△ 50.0	△ 9.1	13.6

※ 2024 年 6 月分は「卸・小売業」としてデータ集計した数値を掲載しています。



2. 経営上の問題点

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	売上の停滞・減少 59.1%	売上の停滞・減少 50.0%
第 2 位	仕入先からの値上げ 要請 36.4%	人手不足 40.9%
第 3 位	人手不足 人件費の増加 27.3%	仕入先からの値上げ 要請 36.4%

(複数回答)

3. 当面の重点経営施策

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	経費を節減する 77.3%	経費を節減する 59.1%
第 2 位	人材を確保する 36.4%	品揃えを改善する 40.9%
第 3 位	品揃えを改善する 27.3%	人材を確保する 36.4%

(複数回答)

調査員の コメント

- ・ 昨年同時期より、販売・仕入価格が上昇し売上・収益に影響を及ぼしている。
- ・ 物価上昇による消費マインドの冷え込みが、秋以降も続くと考えている。
- ・ 商圏人口が減少していく中、お客さまとの関係性を重視しサービスの向上を意識している。

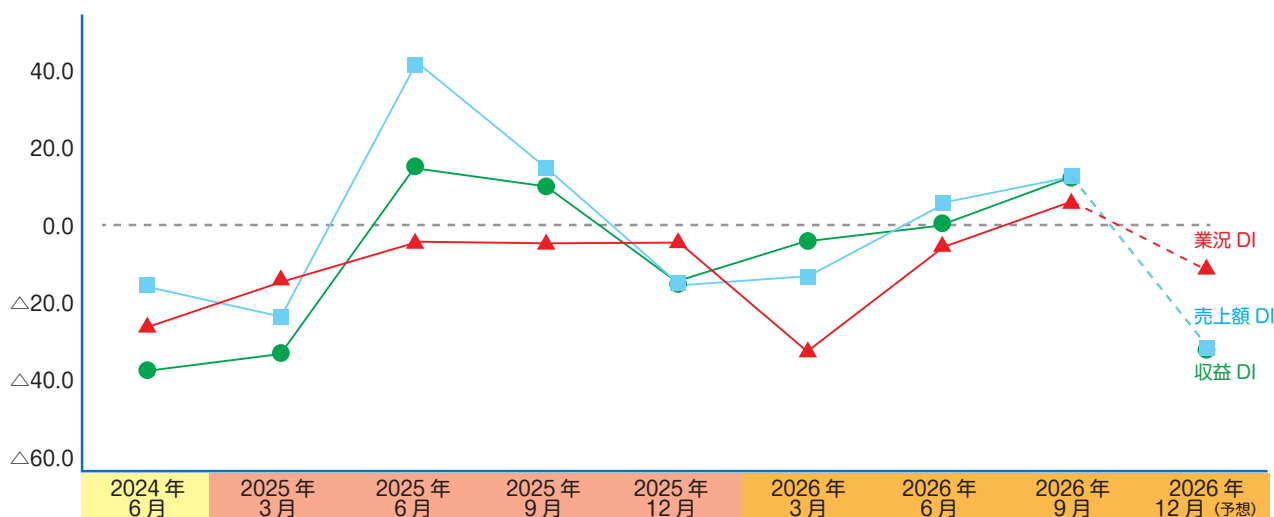


サービス業



1. 主要指標の推移

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
業 況 D I	△ 33.3	△ 5.6	5.6	△ 11.1
売 上 額 D I	△ 16.7	5.6	16.7	△ 33.3
収 益 D I	△ 5.6	0.0	16.7	△ 33.3



2. 経営上の問題点

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	材料価格の上昇 66.7%	材料価格の上昇 61.1%
第 2 位	人手不足 44.4%	人手不足 38.9%
第 3 位	人件費の増加 33.3%	人件費の増加 店舗・設備の狭小・老朽化 27.8%

(複数回答)

3. 当面の重点経営施策

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	人材を確保する 50.0%	経費を節減する 人材を確保する 44.4%
第 2 位	経費を節減する 44.4%	
第 3 位	販路を広げる 27.8%	機械化を推進する 33.3%

(複数回答)

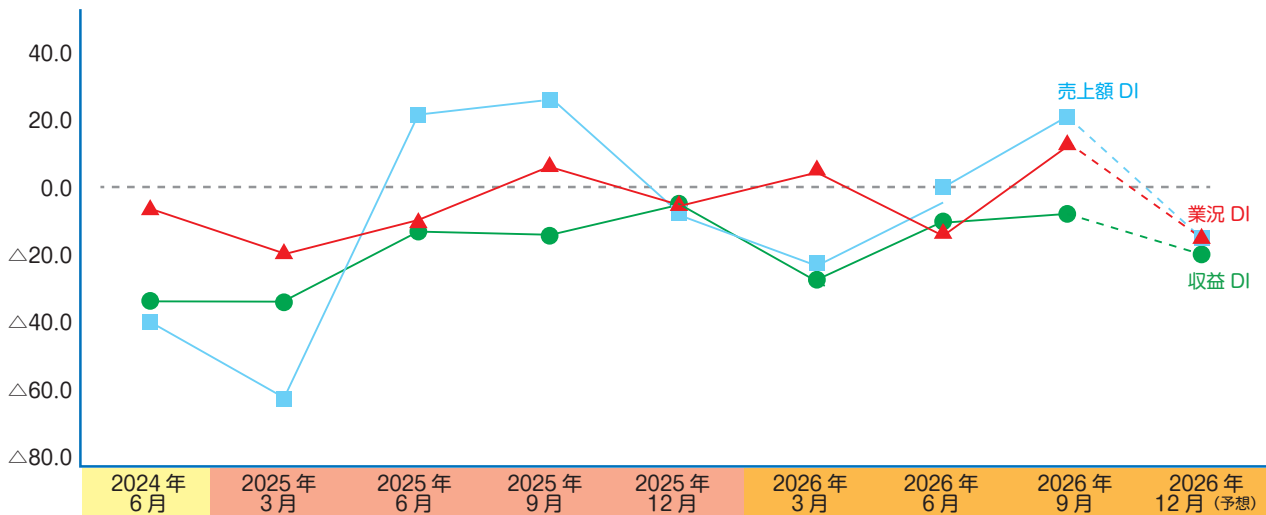
調査員の コメント

- ・ 宿泊業の宿泊部門は、近年では一番良いが宴会部門は低調な推移にある。
- ・ 自動車整備業について売上は前年並みで推移、しかし部品等の仕入は高騰している。
- ・ 事業拡大は考えておらず、事業承継を意識した経営を進めている。



1. 主要指標の推移

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
業 況 DI	4.2	△ 16.7	12.5	△ 16.7
売 上 額 DI	△ 20.8	0.0	20.8	△ 16.7
収 益 DI	△ 25.0	△ 12.5	△ 8.3	△ 20.8



2. 経営上の問題点

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	人手不足 62.5%	人手不足 75.0%
第 2 位	材料価格の上昇 58.3%	材料価格の上昇 45.8%
第 3 位	技術力の不足 29.2%	人件費の増加 37.5%

(複数回答)

3. 当面の重点経営施策

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	技術力を高める 66.7%	人材を確保する 66.7%
第 2 位	人材を確保する 58.3%	技術力を高める 58.3%
第 3 位	経費を節減する 45.8%	経費を節減する 37.5%

(複数回答)

調査員の コメント

- ・ 当面、資材高騰は避けられない。同時に人材確保は最重要課題。
- ・ 最低賃金の上昇に併せて、基本給や残業を調整しているが物価の上昇に追いつかない。
- ・ 土木部門は比較的順調に推移、建築部門は資材高騰等の影響により動きが鈍い。

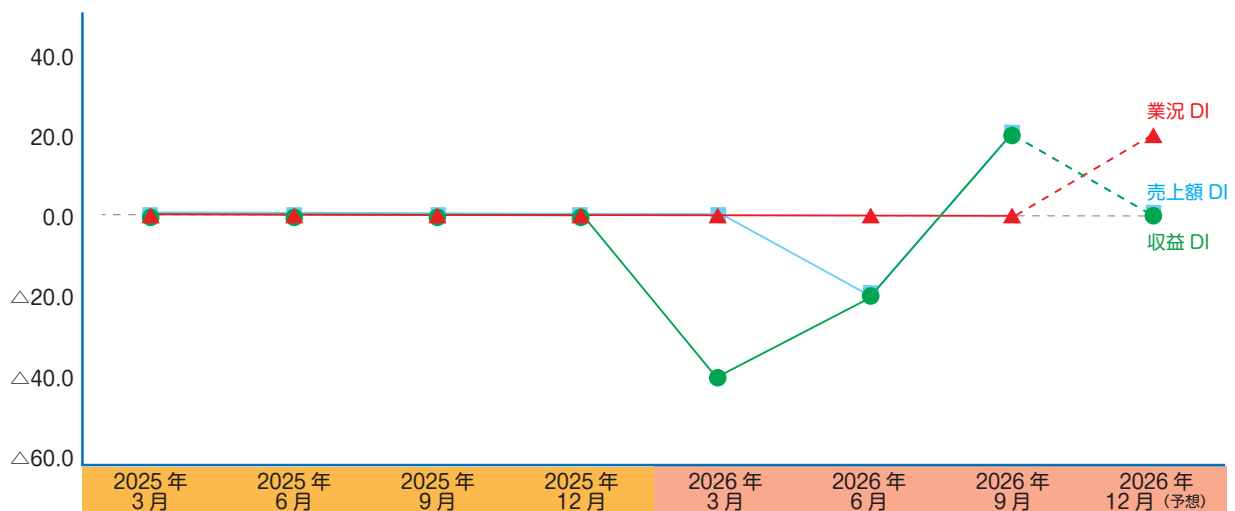


不動産業



1. 主要指標の推移

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
業 況 DI	0.0	0.0	0.0	20.0
売 上 額 DI	0.0	△ 20.0	20.0	0.0
収 益 DI	△ 40.0	△ 20.0	20.0	0.0



2. 経営上の問題点

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	同業者間の競争の激化 商品物件の高騰	同業者間の競争の激化 40.0%
第 2 位	40.0%	大手企業との競争激化 利幅の縮小
第 3 位	利幅の縮小 商品物件の不足 人件費以外の経費の増加 問題なし	商品物件の不足 商品物件の高騰 人件費の増加 人件費以外の経費の増加 その他 問題なし
	20.0%	20.0%

(複数回答)

3. 当面の重点経営施策

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	経費を節減する 新しい事業を始める 不動産の有効活用を 図る	経費を節減する 新しい事業を始める 不動産の有効活用を 図る
第 2 位	特になし	特になし
第 3 位	40.0%	40.0%

(複数回答)

調査員の コメント

- ・ 借入金の金利が上昇しており、金利負担増による収益の圧迫がみられる。
- ・ 空室はあるが、入居率は変わらない状況である。

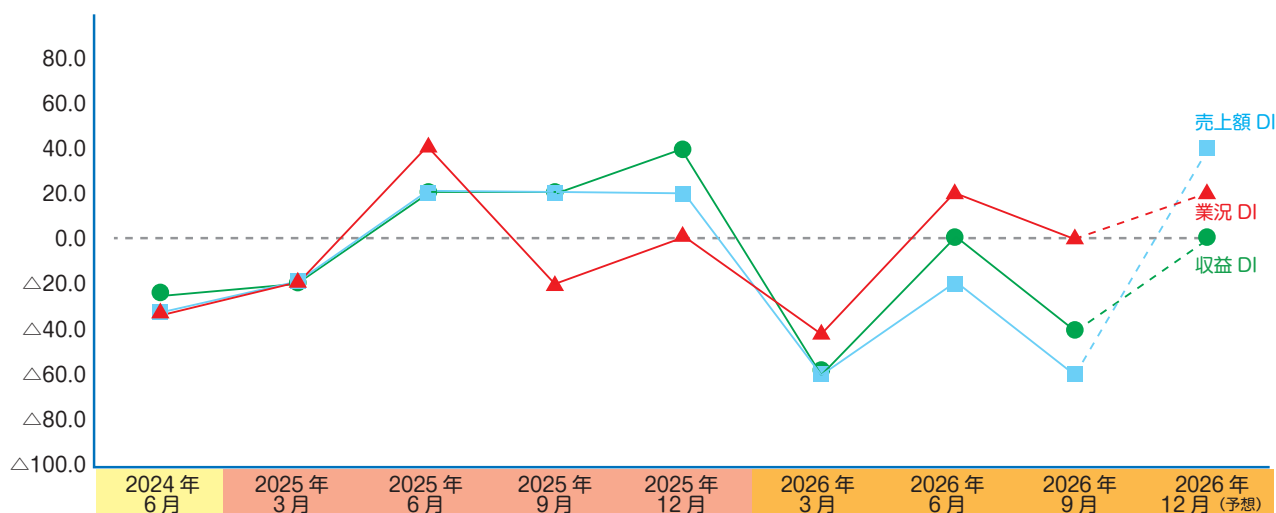


運輸業



1. 主要指標の推移

	2026 年 3 月期	2026 年 6 月期	今期	見通し
業 況 DI	△ 40.0	20.0	0.0	20.0
売 上 額 DI	△ 60.0	△ 20.0	△ 60.0	40.0
収 益 DI	△ 60.0	0.0	△ 40.0	0.0



2. 経営上の問題点

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	材料価格の上昇 人件費以外の経費の増加	材料価格の上昇 60.0%
第 2 位	60.0%	人手不足 技術力の不足
第 3 位	人手不足 人件費の増加 40.0%	40.0%

(複数回答)

3. 当面の重点経営施策

	2026 年 6 月期	今期
第 1 位	経費を節減する 80.0%	経費を節減する 80.0%
第 2 位	販路を広げる 60.0%	技術力を強化する 人材を確保する
第 3 位	提携先を見つける 労働条件を改善する 40.0%	労働条件を改善する 40.0%

(複数回答)

調査員の コメント

- ・ 農作物の収穫期を迎え繁忙の見通し。肥料関係は原料不足で遅れが出ている。
- ・ 人件費増加により収益は減少する見通しだが、経費節減により収益の減少を抑えたい。
- ・ 中東情勢の影響による燃料価格高騰が落ち着いて欲しい。

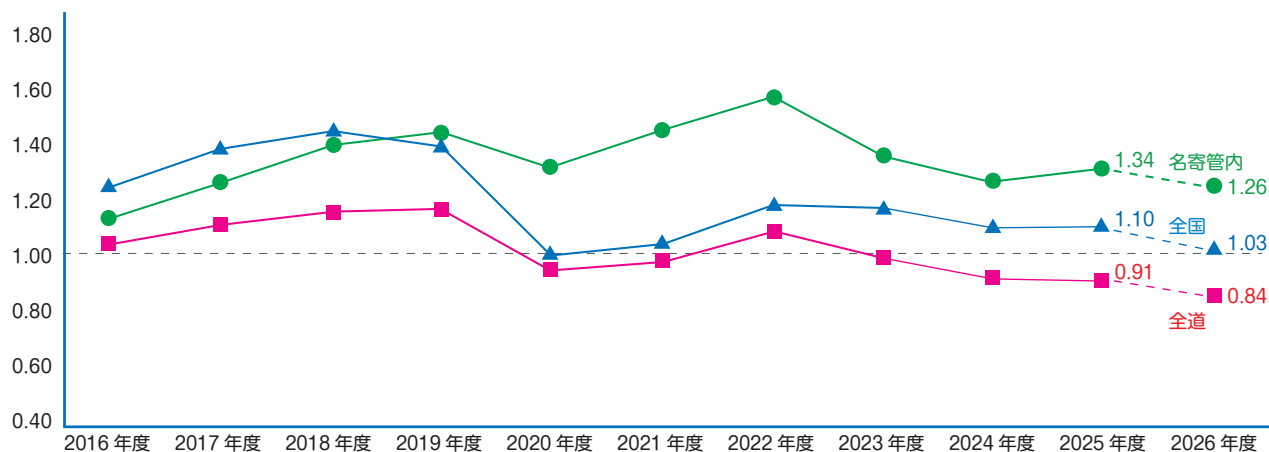
主要経済指標

1. 調査地域の人口動向

	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年 8 月末
名 寄 市	28,633	28,280	27,909	27,582	27,277	27,059	26,663	26,020	25,376	24,742	23,906
士 別 市	20,216	19,699	19,348	18,965	18,562	18,134	17,676	17,283	16,869	16,440	15,741
美 深 町	4,651	4,573	4,482	4,364	4,244	4,112	3,991	3,890	3,789	3,681	3,556
下 川 町	3,423	3,355	3,339	3,303	3,254	3,186	3,098	3,027	2,935	2,836	2,726
中 川 町	1,683	1,632	1,577	1,522	1,492	1,440	1,413	1,336	1,304	1,269	1,235
剣 淵 町	3,317	3,273	3,176	3,131	3,063	3,012	2,950	2,888	2,811	2,728	2,647
和 寒 町	3,605	3,542	3,476	3,369	3,278	3,222	3,097	3,006	2,903	2,807	2,702
音威子府村	784	790	771	763	729	699	682	668	636	601	576
合 計	66,312	65,144	64,078	62,999	61,899	60,864	59,570	58,118	56,623	55,104	53,089

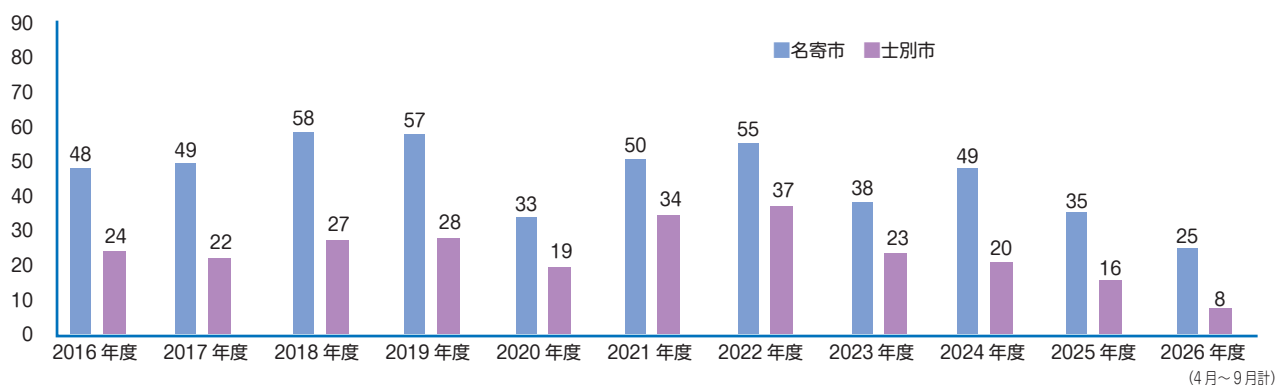
資料：上川総合振興局
各市町村

2. 名寄管内の有効求人倍率



(※ 4月～8月までの平均値)
資料：北海道労働局

3. 名寄市、士別市の建築確認申請件数（住宅）

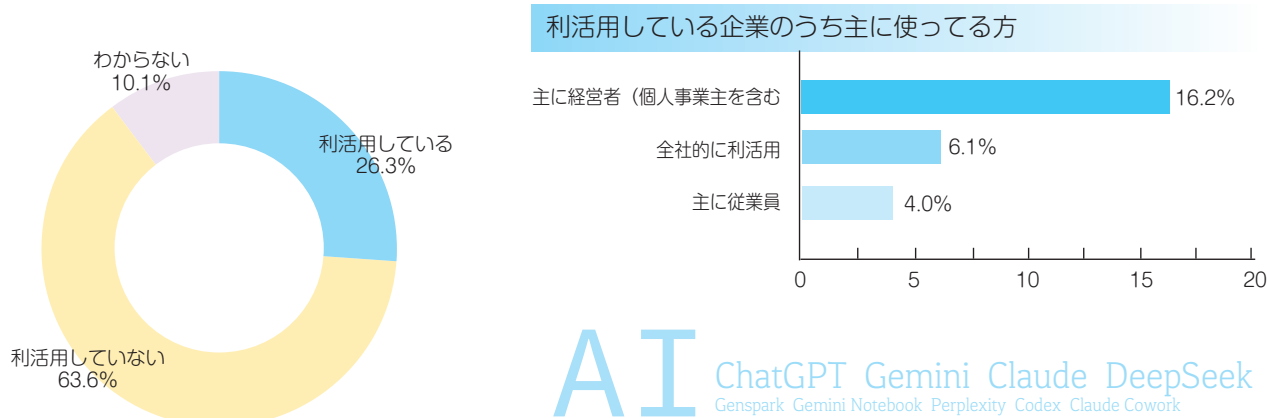


(4月～9月計)
資料：名寄市、士別市

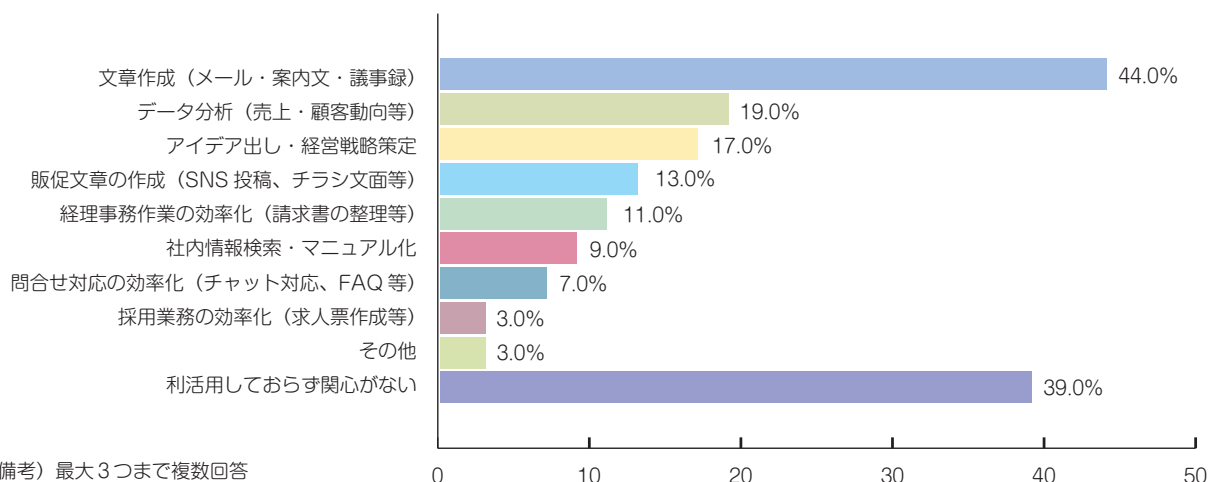
特別調査

中小企業における生成AIの利活用について

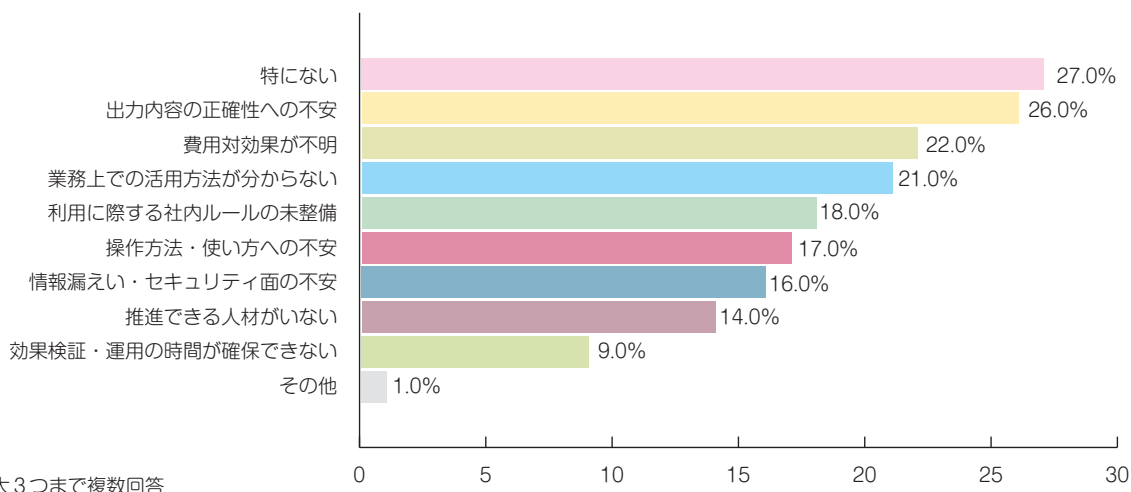
問 1. 貴社では、業務上で生成AI（ChatGPT、Gemini、Claude、DeepSeek等）を利活用していますか。利活用している場合は主にどのような方が使っていますか。



問 2. 貴社では、業務上で生成AIをどのような用途で利活用していますか。また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか。



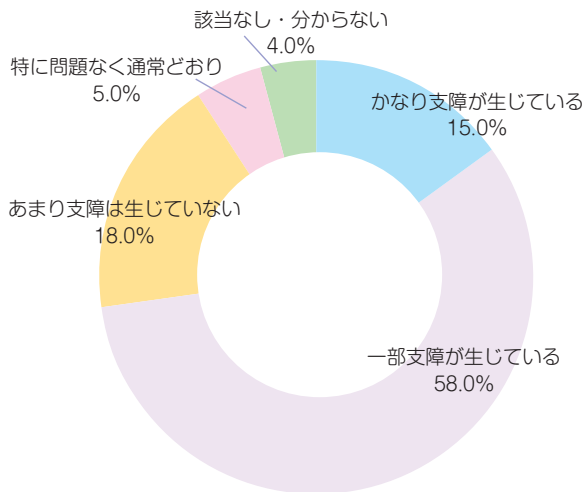
問 3. 貴社が生成AIを業務で利活用する上で、課題となる点は何ですか。もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか。



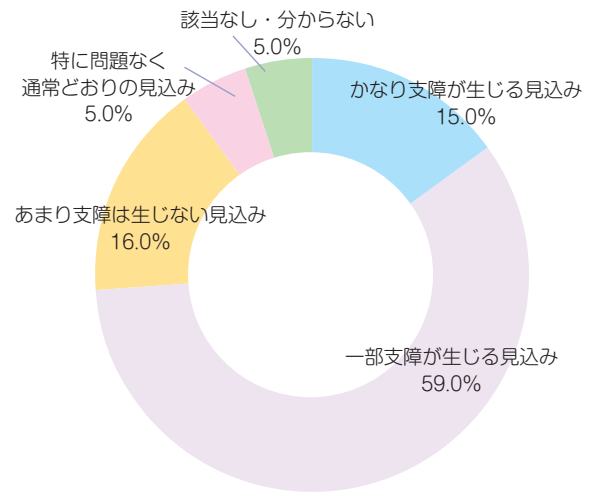
特別設問 中東情勢による影響

問 4. 2026年春以降の中東情勢の混迷等により、貴社では原材料や商品等の調達（仕入れ）に際して、欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じていますか。直近（6か月程度）の状況について、今後（6か月程度）の見通しについてお答えください。

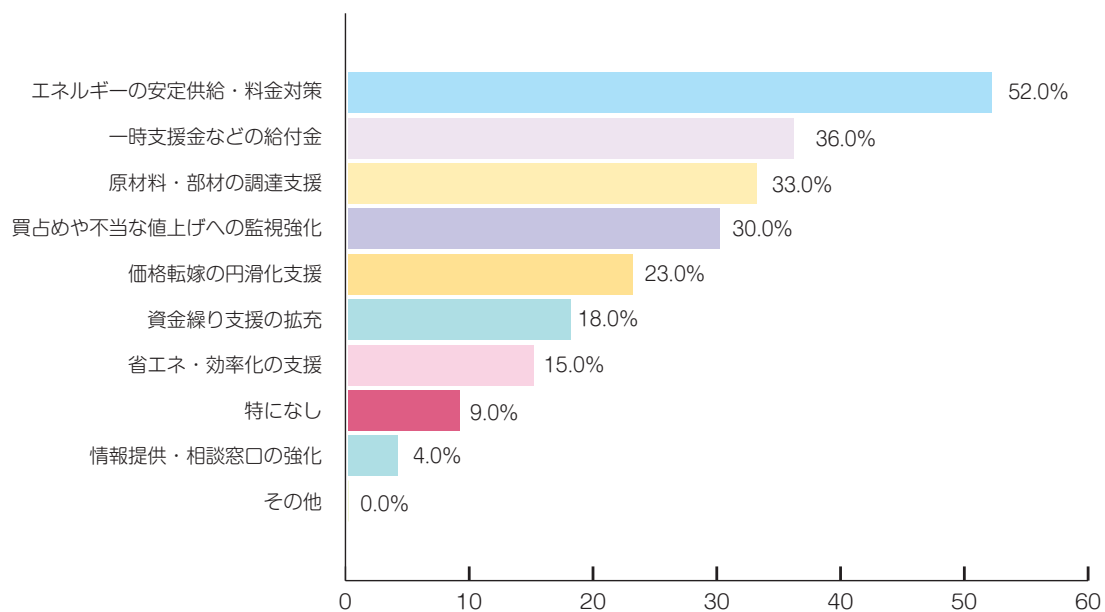
中東情勢の影響（直近）



中東情勢の影響（今後）



問 5. 中東情勢の混迷等により、原油価格等の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後、行政に求める支援策は何ですか。



（備考）最大3つまで複数回答